

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス・プロスペール

公表日 2026年4月1日

利用児童数 100%

回収数 100%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%					(スペース・配置) お子様狭さを感じず安全に活動できるよう、レイアウトの最適化を継続します。また、専門的な指導員を適切に配置し、一人ひとりの選択を尊重できる体制を維持します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	90%	10%			今まで、安全に通っているため安心して預けられています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%					(環境構成・清潔)：モンテッソーリ教育の視点を取り入れ、お子様が「次に何をすべきか」を視覚的に理解できる構造化をさらに進めます。また、PC周辺の衛生管理やデバイスの消毒をルーチン化し、常に清潔で心地よい空間を保ちます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					(専門性・計画策定)：ABA (応用行動分析) や氷山モデルを用いた分析結果を、個別支援計画により具体的に反映させます。保護者様のニーズを客観的に分析し、納得感の高い目標設定を行います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 (個別支援計画) が作成されていると思いますか。	100%					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%					ガイドラインに沿った「本人支援」「移行支援」を軸にしつつ、Minecraftやプログラミング等の独自プログラムが形骸化しないよう、お子様の習熟度に合わせて常にアップデートします。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	90%	10%				地域の他のお子様との交流や成果発表の機会を検討し、社会との接点を増やします。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					(説明責任・家族支援)：契約時の丁寧な説明に加え、ペアレント・トレーニングや専門知識 (氷山モデル等) を共有する勉強会を定期的で開催し、家族支援プログラムを充実させます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	80%			20%		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100%				長期休みに「お仕事体験」を見学して、とても貴重な体験をさせてもらってます。	(共通理解・相談対応)：SNSでの日々の連絡において、単なる活動報告だけでなく、専門的な意図 (「今日はこの目的での声掛けをしました」等) を添えることで、支援の共通理解を深めます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	50%			50%		(交流支援・意思疎通)：意見交換や相談がより気軽にできるよう、SNSの活用に加えて、匿名性を確保したアンケートや相談体制の周知を徹底します。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	90%			10%		(情報発信・個人情報)：自己評価結果の公表だけでなく、改善に向けた具体的なステップをホームページやSNSで定期的に発信し、運営の透明性を確保します。個人情報の取り扱いについては、デジタル機材を扱う事業所として最新のセキュリティ意識をスタッフ間で共有します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	80%			20%		(マニュアル・訓練)：各種マニュアル(事故防止・防災・感染症)を常に最新の状態に更新し、保護者様への周知を徹底します。特にお子様の特性に配慮した避難訓練を定期的に行います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	70%			30%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%					
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%					(緊急連絡)：万が一の怪我や事故の際、SNSや緊急連絡網を用いた迅速な報告と、その後の状況説明を誠実に行う体制を改めて確認します。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%					(お子様の安心・楽しみ)：「自分で選ぶ」活動を通じて、お子様が主体的に通所を楽しめる環境設定を働き続けます。スタッフの良好な労働環境を維持することで、お子様への質の高い、笑顔あふれる関わりを担保します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	90%	10%				
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%					(支援の満足度)：日々の細やかな情報共有と、将来の自立(就労等)を見据えたITスキルの育成により、高い満足度を維持・向上させていきます。